



米国コンコードでヒアリングと視察を実施

任意団体 水Do!ネットワーク

主体間の連携による 使い捨て飲料容器の削減及び 水の域産域消の普及啓発活動

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

イベントの
延べ参加者数

350人

イベント参加者の
満足度

92%

活動の全体目標に
対する達成度

35%

課題

ペットボトルなどの使い捨て容器に入った飲料の消費の増加は、資源消費量、CO₂排出量等の環境負荷の増加につながっており、水道水や地域の水資源への関心は低い。

活動内容

国内外の脱ペットボトル、水の域産域消の事例調査として、米国東海岸において自治体、NGO等のヒアリングおよびフィールド調査を行った。市民に向けた啓発活動として、逗子、京都、東京において、イベント出展、セミナー開催の「水Do!キャラバン」を実施した。3月に「水Do!フォーラム2017」を開催し米国コンコード市のゲスト、国内関係者とともに、脱使い捨て社会に向けた合意形成のあり方を議論した。



「水Do!フォーラム2017」
会場の様子

今後の課題

- 欧州の現地調査を実施する。国内調査を参加型で実施する。
- 新たな地域で水Do!キャラバンを実施する。
- 新しい啓発プログラムを助成期間中に完成させる。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・米国現地調査により、成功事例の効果的な戦略やプロセスを把握した。
- ・3か所の水Do!キャラバンで延べ350人に行動変化を呼びかけた。
- ・「水Do!フォーラム2017」が3つのメディアに掲載された。

工夫

広報に魅力的なビジュアルを使用し、提案するオルタナティブな社会の具体的なイメージを提示した。